

「新型コロナウイルスワクチン」



総合病院 土浦協同病院

薬剤部 薬剤主任 遠藤 幸司 (エンドウ ヲジ)

林アナウンサー：林アナ

林アナ：今回接種が予定されているファイザー社のワクチンはどのようなものですか？

遠藤：これまでのワクチンは、生ワクチンと呼ばれる病原性を弱めたものや、不活化ワクチンと呼ばれる病原性のないウイルスの一部を接種するものが一般的でした。

今回のファイザー社のワクチンは、ウイルスの表面にあるタンパク質を作る基になる情報（メッセンジャーRNA：mRNA）が含まれています。新しいタイプのワクチンなので、定期的な体調のフォローアップは必要ですが、海外や日本で使われてきて、有効性、安全性のデータが逐次報告され公開されています。

林アナ：今回接種されるファイザー社のワクチンは安全ですか？

遠藤：承認されたファイザー社のワクチンは、国内外においての臨床試験の結果を踏まえ、有効性・安全性が確かめられ承認されました。副反応の多くは注射部位の腫れや痛みなど局所反応で、発熱、倦怠感などの全身症状も後遺症のない一過性のものです。ごくまれにアナフィラキシーを起こす方がいますが、適切に治療が行われていることから、国は安全性において重大な懸念は認められないと評価しています。また適切に処置をすればいずれも治療可能なものです。

林アナ：ワクチンは何回接種する必要がありますか？

遠藤：ファイザー社は、現在のところ21日の間隔で2回接種が必要です。また、現時点の臨床試験では「1回の接種よりも、2回接種の方がより効果がある傾向が見られた。」との結果がでています。このため現在は2回接種が行われています。

林アナ：ワクチン接種を受けなかったら、どうなりますか？

遠藤 : ワクチン接種を受けると、受けない場合に比べ、発症リスクが20分の1になるというデータがあります。新型コロナウイルスワクチンの接種は強制ではありませんが、非常に高い効果が期待できますので、発症予防の効果と副作用のリスクを正しく理解した上で、接種に臨むことが必要と思います。また、発症予防効果のほかに、「重症化を防ぐ効果」も期待されていますが、こちらについては、現在も検証が続けられています。

林アナ : ワクチン接種に費用はかかりますか？

遠藤 : 全額公費で接種を行うため、無料で接種できます。

林アナ : 副反応と副作用は異なるものですか？

遠藤 : 薬やワクチンの使用後に起きる、期待されたものと異なる有害な影響という意味では同じです。治療に使う薬では「副作用」と呼び、ワクチンの場合は「副反応」と分けて呼ばれています。

林アナ : ワクチン接種後の副反応について教えてください。

遠藤 : ワクチン接種後、すぐに現れる可能性のある副反応は、アナフィラキシーと迷走神経反射です。この2つの様子を見るため、接種後15分以上は接種会場で様子を見ていただきます。ただし、過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことある場合などは、接種会場にて30分ほど様子を見ていただきます。なお、医療機関や接種会場ではこれら副反応に対応できる体制を整えていますので、ご安心ください。

アナフィラキシーはワクチンの副反応の一つで、じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの症状が急に起こります。90%以上の方が30分以内に起こっています。

迷走神経反射は、ワクチン接種に対する緊張や強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いてときに気を失うことがあります。誰にでも起こる可能性がある身体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。

また接種後は、少なくとも2～3日間は注射部位の痛み、倦怠感、頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ、吐き気のような副反応が認められていますが、ほとんどの場合1～2日後には症状が消失しています。もし、痛みや熱等が強ければ、解熱鎮痛剤を使用することも可能です。なお、接種後当日は激しい運動、飲酒を避けてください。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。

林アナ : ワクチン接種の副反応により障害が生じたときの保障はありますか？

遠藤 : 予防接種の副反応による健康被害は極めて稀ですが、万が一、健康被害が生じた場合には、国が「予防接種健康被害救済制度」に基づき、迅速に救済するとされています。申請に必要な手続き等については、予防接種を受けられた市町村にご相談ください。

林アナ : ワクチン接種を受けた後は他人にうつすことはありませんか？

遠藤 : ワクチン接種は発症予防（発症を抑える効果）の大きな手段であることに間違いはありませんが、感染予防（他の方に感染させない効果）があるかどうかは、まだわかっていません。さらに発症予防に高い効果を示しているとはいえ、100%発症を防げるわけではありません。また、1回だけ接種した場合や、2回目の接種後でも6日以内の場合は、効果が低い状況です。そのため、今までと同様、マスク着用、手洗い、3密を避けること等を続けてください。

林アナ : ワクチンは子供にも接種できますか？

遠藤 : 現時点では、小児への有効性・安全性は確かめられていないため、16歳未満は接種できません。今後、インフルエンザワクチンのように小児への安全性が確保されたら状況は変わっていくと思われれます。

林アナ : ワクチンは妊婦や授乳中でも接種できますか？

遠藤 : 妊娠中の方も新型コロナワクチンの接種を受けることはできます。ただし現時点では妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するワクチンの安全性に関するデータが限られているので、かかりつけ医とも良くご相談し接種されるかどうかの判断をしていただくことになっています。

授乳中の方も新型コロナワクチンの接種を受けることができます。現時点では特段の懸念が認められているわけではなく、海外でも接種の対象とされています。

判らないこと、ご不安なことなどは、かかりつけ医と良くご相談ください。

林アナ : アレルギーがありますがワクチン接種できますか？

遠藤 : 他のワクチンや食べ物でアレルギーを起こしたことのある方でも、多くの場合は、新型コロナワクチンの接種を受けることができます。

過去に他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人や、このワクチンに含まれる

成分に対してアレルギーをおこすおそれがある人の場合は、医師が健康状態

や体質に基づいて、接種の適否を判断することになっています。

林アナ：ワクチン接種を受けられない人はいますか？

遠藤：16歳未満の方、明らかに発熱している人、重篤な病気にかかっている人、過去にこのワクチンに含まれている成分で重度の過敏症のあった人、医師が予防接種を行うことが不適當な状態にあると判断した人です。

司会者：ワクチン接種当日の発熱や体調不良の場合は、どうしたら良いですか？

遠藤：ワクチン接種当日に37.5℃以上の発熱や、体調が悪い場合などは接種を控え、接種案内等への連絡先に連絡を入れて下さい。

※令和3年5月末時点の収録内容のものをそのまま掲載しております。現在とは異なる点がございますので予めご了承下さい。